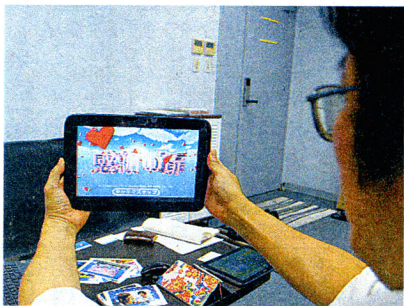


AR活用 挙式多彩に

―L社など 映像配信で新商品

ITシステム開発のインタラクティブラボトリー（IL社、東京、武田政樹社長）とトレッド（東京、濱野信弘社長）は、AR（拡張現実）



AR技術を活用したフライダル向け映像配信サービス「感謝の扉」の画面

の画像認識技術を活用し、従来よりも安価で大規模な映像配信システムを開発した。同システムを利用し、今月からフライダル向け「感謝の扉」の配信サービスをスタート。県内ではインタラクティブラボトリー沖縄（うるま市、嘉数岩夫社長）が事業展開を担う。

「感謝の扉」は1つの結婚式で100以上の映像と識別するマーカーを同時に登録。招待状をマーカーにした場合、専用アプリをダウンロードしたスマートフォンなどの端末カメラを招待状にかざすと、挙式する2人など事前登

録した映像が配信される。

映像とマーカーを複数登録することで、結婚式の招待から式当日、式後のお礼などシチュエーションに応じて、多彩な映像を楽しむことができる。

1本の映像は30秒から1分。標準的な結婚式で計10本程度を想定し、価格は数万円から。県内のホテル、マーカーを制作する印刷会社と連携し、需要を掘り起こす。今後は観光分野、文化事業への応用も検討していく考えだ。

問い合わせはインタラクティブラボトリー沖縄、電話098(989)7265。